

報道各位

プレスリリース

unicef   
for every child

配信日：2022年5月12日

発信元：（公財）日本ユニセフ協会

## ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 5月19日・20日、熊本県で実施 （5年ぶり10回目）

世界の子どもたちの現状と持続可能な開発を考える  
知事・教育長とメッセージを交換 および  
教員研修会、学校での「ユニセフ教室」を開催

公益財団法人 日本ユニセフ協会（東京都港区 あかまつりようこ 会長：赤松良子）は、5月19日（木）・20日（金）に、「熊本県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を実施いたします。

ユニセフ・キャラバン・キャンペーンは、世界の子どもたちの現状やユニセフ（国際連合児童基金）の活動に関する啓発を目的に1979年の『国際児童年』を記念してスタートしたキャンペーンで、毎年、全国の11～12ほどの道府県を訪問しています。（2020年以降、新型コロナウイルスの影響を鑑み、開催地の方針に基づき、オンラインを交えながら実施しています。）

「熊本県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」の実施は1982年、1989年、1994年、1997年、2001年、2005年、2009年、2013年、2017年に続き、今回で10回目です。

今回のキャンペーンでは、5月19日（木）に、県庁にて蒲島 郁夫 知事 ならびに、白石 伸一 教育長とメッセージ交換を行います。日頃の熊本県民のみなさまからのユニセフへのご支援に感謝の意をお伝えするとともに、世界の子どもたちの状況への理解を広め、「子どもの権利」や持続可能な世界を実現していくために、さらなる連携とお力添えをお願いする予定です。

また、同日午後には、県内の教員のみなさまを対象とした「ユニセフ研修会」を実施いたします。研修会では世界の子どもたちを取り巻く現状やユニセフの活動についてお伝えするほか、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）について詳しくお伝えするとともに、SDGsを学校でどう伝え、活用できるか等について、グループワークを交えながら研修します。

5月20日（金）には、午前には熊本市立黒髪小学校、午後には益城町立益城中学校を訪問し、「ユニセフ教室」を開催します。世界の子どもたちが直面しているさまざまな困難な状況について写真や映像を用いて紹介するほか、SDGsにも触れながら私たちがこれから取り組むべき課題について考えます。

また、水道が普及していないネパールの農村で、子どもたちが家族のための水汲みに使っている真鍮製の水がめ（水を入れると約15kg）や、マラリア予防のための蚊帳など、各地で使用されている実物を紹介しながら、身近に世界の課題を考える機会を提供します。

（裏面につづく）

■ キャンペーン日程 (注意事項をご参照のうえ、取材くださいますよう、よろしくお願いたします。)

月日	時間	行事	注意事項
5月19日 (木)	10:00~10:15	知事様とのメッセージ交換 会場：知事応接室 (県庁本館5階) 出席者： 蒲島 郁夫 熊本県知事 日本ユニセフ協会 事務局長 遠藤 剛 ほか2名 熊本県ユニセフ協会 副会長 世良 喜久子 ほか3名	各会場に直接お越しください。
	10:30~10:45	教育長様とのメッセージ交換 会場：教育委員会室 (県庁新館7階) 出席者： 白石 伸一 熊本県教育長 日本ユニセフ協会 事務局長 遠藤 剛 ほか2名 熊本県ユニセフ協会 副会長 世良 喜久子 ほか3名：	
	13:30~16:00	ユニセフ研修会 会場：職員研修室 (新館2階) 県内教員・指導主事約 50名参加予定	
5月20日 (金)	9:35-10:35	ユニセフ教室 会場：熊本市立黒髪小学校 (体育館) 参加学年：6年生 (69人)	学校での取材は両校とも可能ですが、写真撮影等、必ず学校にご相談のうえ、学校の指示に従ってご取材ください。訪問時は、マスクの着用など、学校が求める感染予防対策を講じてください。
	15:10~16:00	ユニセフ教室 会場：益城町立益城中学校 (体育館) 参加学年：3年生 (245人)	

お問い合わせ：(公財) 日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL：03-5789-2014 / E-mail：[se-jcu@unicef.or.jp](mailto:se-jcu@unicef.or.jp)

熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

課長 藤岡 (6664) 審議員 松永 (6789)

TEL: 096-333-2705

\* \* \*

■ ユニセフについて

ユニセフ (UNICEF：国際連合児童基金) は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在 190 の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念を様々な形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。(www.unicef.org)

※ユニセフ国内委員会 (ユニセフ協会) が活動する 33 の国と地域を含みます

※ユニセフの活動資金は、すべて個人・企業・団体・学校からの民間募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています

■ 日本ユニセフ協会について

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、先進工業国 33 の国と地域にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、政策提言 (アドボカシー) を担っています。(www.unicef.or.jp)